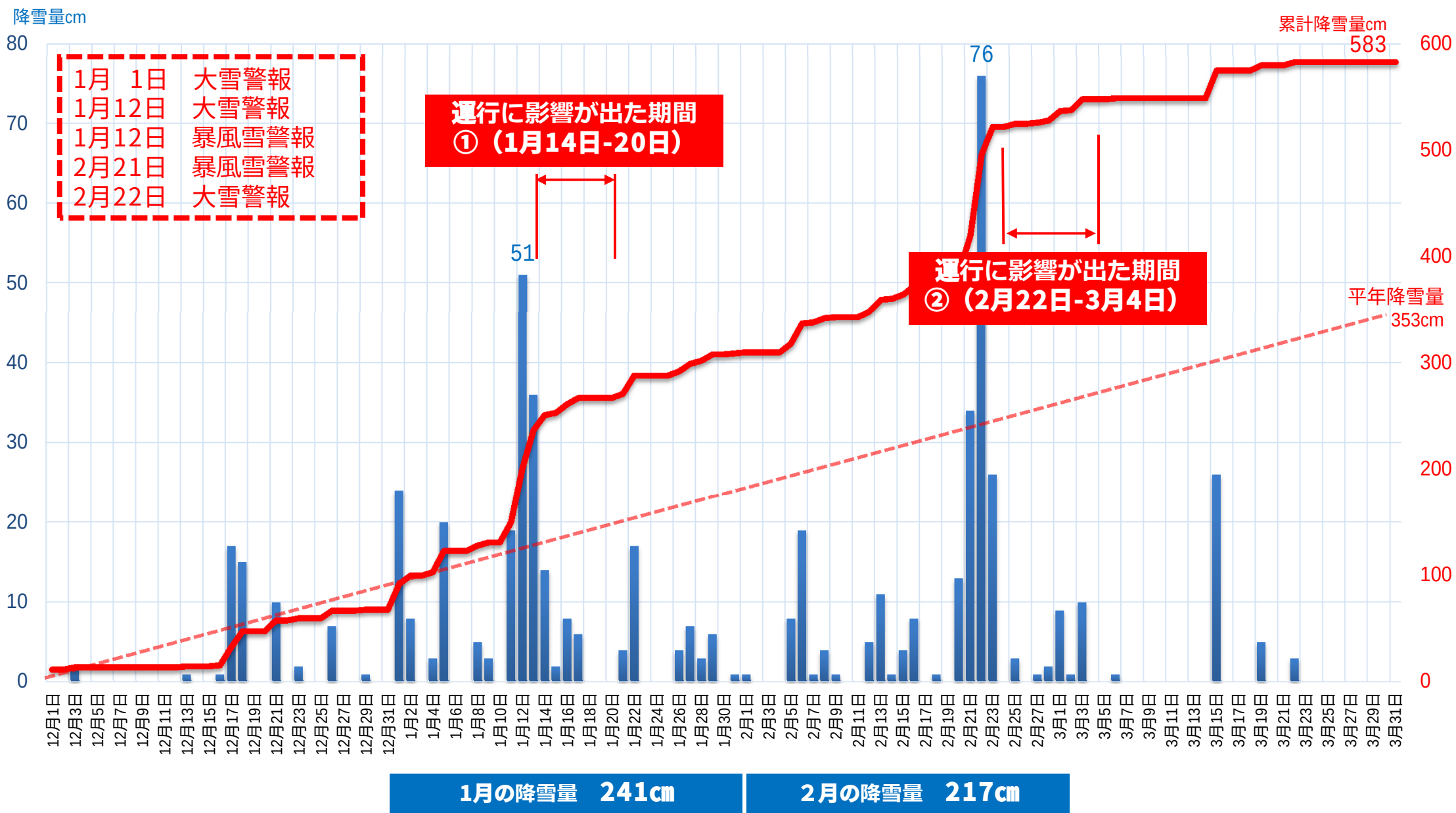


大雪災害時における バス運行の確保について

～ 令和4年1、2月の大雪を踏まえて ～

1 令和3年度における降雪量の推移



2 大雪による路線バスへの影響

各期間の運休状況

運行路線		① (1月14日～1月20日)	② (2月22日～3月4日)
中央バス	桜木線	全運休3日間 ➡ 部分運行2日間	全運休7日間 ➡ 部分運行4日間
	桜木空港線	全運休3日間 ➡ 部分運行2日間	全運休6日間 ➡ 部分運行3日間
	みどり台線	迂回運行4日間	全運休6日間 ➡ 部分運行2日間
	みどり台空港線	迂回運行4日間	全運休6日間 ➡ 部分運行2日間
	支笏湖線	通常運行 (遅延等あり)	全運休1日間 ➡ 迂回・部分運行3日間
	新星空港線	通常運行 (遅延等あり)	全運休1日間 ➡ 迂回・部分運行3日間
	空港市内線	通常運行 (遅延等あり)	全運休1日間 ➡ 迂回・部分運行3日間
	東部隊線	迂回運行6日間	全運休4日間 ➡ 迂回運行7日間
	稲穂団地線	片回り運行7日間	全運休9日間 ➡ 部分運行2日間
千歳相互バス	泉沢向陽台線	通常運行 (遅延等あり)	全運休6日間
	泉沢市民病院線	通常運行 (遅延等あり)	全運休6日間
	図書館青葉線	通常運行 (遅延等あり)	全運休6日間
	市民病院プール線	通常運行 (遅延等あり)	全運休6日間
相互・道南	勇舞空港線	通常運行 (遅延等あり)	全運休6日間

千歳市
City of Chitose

(1) バス事業者への問い合わせなど

- バス会社のホームページやバス停に運休等の貼紙の掲出をするも、電話による問い合わせが殺到し、対応に追われる状況
- 「運行再開いつか」といった問い合わせが数百件あった

(2) 市への問い合わせなど

- バスが運休になっていることを知らずにバスを待った。
- 迂回運行により、バス停が遠くなるので、早く通常運行にして欲しい。
- 運休の影響で市民病院へ通院できない。
- 向陽台からの移動手段はバスなので、千歳駅や医療施設までのアクセスを確保して欲しい。
- 積雪で狭い道路は、国道などへの迂回運行を検討してほしい。
- バス停で待っていたが、素通りされてしまった。
- バス会社のホームページを見たが、運休情報が発見できなかった。

5 バス事業者から見た主な課題

(1) 道路環境に関する課題

- 通行幅が狭隘になると、対向車とすれ違うための一時的な退避場所もなく、交通が膠着状態
- 路面の凹凸や段差によりバスの車体が傾斜し、一般車との接触が懸念される
- 拡幅除雪により通行環境が良くなっても、道路に雪を捨てる住民がいる
- 同時に複数個所でバスがスタックすると救出が困難

(2) 除雪作業との連携に関する課題

- 運行判断は前日午後の道路状況によるので、夜間排雪の場合は、翌日から運行とはならない
- 国道や道道の除雪について、市からも開発局や道路事務所に要請が必要
- 運行に苦慮した区間について、バス事業者と道路管理者で情報共有が必要

(3) 市民周知に関する課題

- 事業者のHPやバス停への掲出により市民周知を図っても問い合わせ電話が殺到する
- バス停に運休・迂回情報を掲出する対応が困難

6 除排雪の方法と課題

(1) 除雪作業

- ・路肩に雪を寄せて通行を確保

(2) 拡幅除雪

- ・幹線道路等は、路肩に寄せた雪を積み上げて車道幅を確保

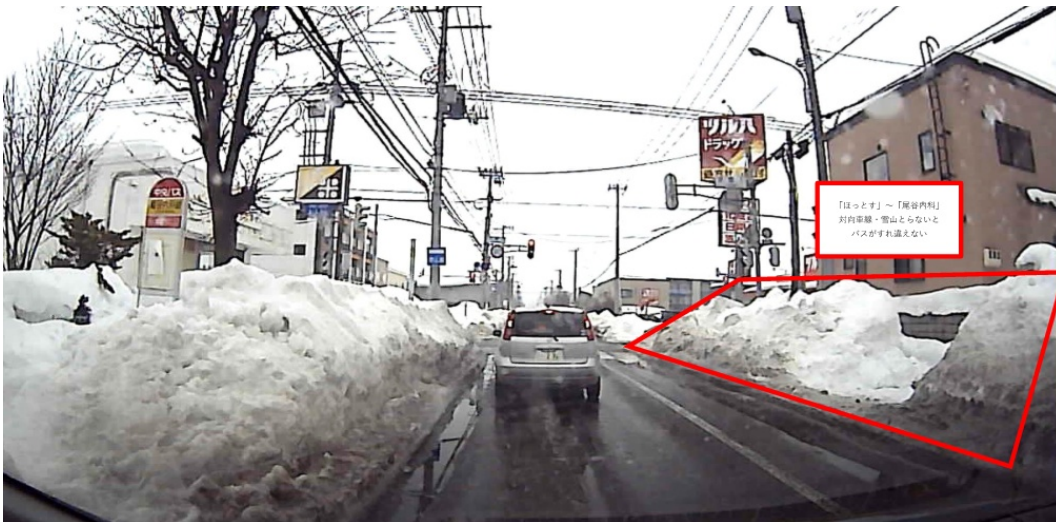
(3) 排雪（交差点排雪、路線排雪）

- ・見通しが悪くなった交差点などの部分的な排雪
- ・雪の堆積スペースを確保するための路線的な排雪（バス路線を優先に実施）

【課 題】

- 排雪作業は、バス路線を優先的に実施しているが、作業能力に限りがあり、すべての路線を実施するためには時間を要することから、バスの運行再開に向けた優先順位付けが必要
- 局所的な障害の場合は、位置や作業規模のニーズを正確に把握することが必要

7 大雪による道路の状況



①仲の橋通（尾谷内科前） ・雪山を取らないとバスのすれ違いは不可
・路肩の段差でバスが傾き対向車との接触の危険



②29号中通（ゴセン川～長都駅前4）
・部分的に雪山が車道に出ており運行が困難



③長都駅前東口
・一般車両の待合車両があると、追い越して通行ができない



④千歳駅西口バス乗り場
・雪の堆積により路線バスの待機や通過ができない。

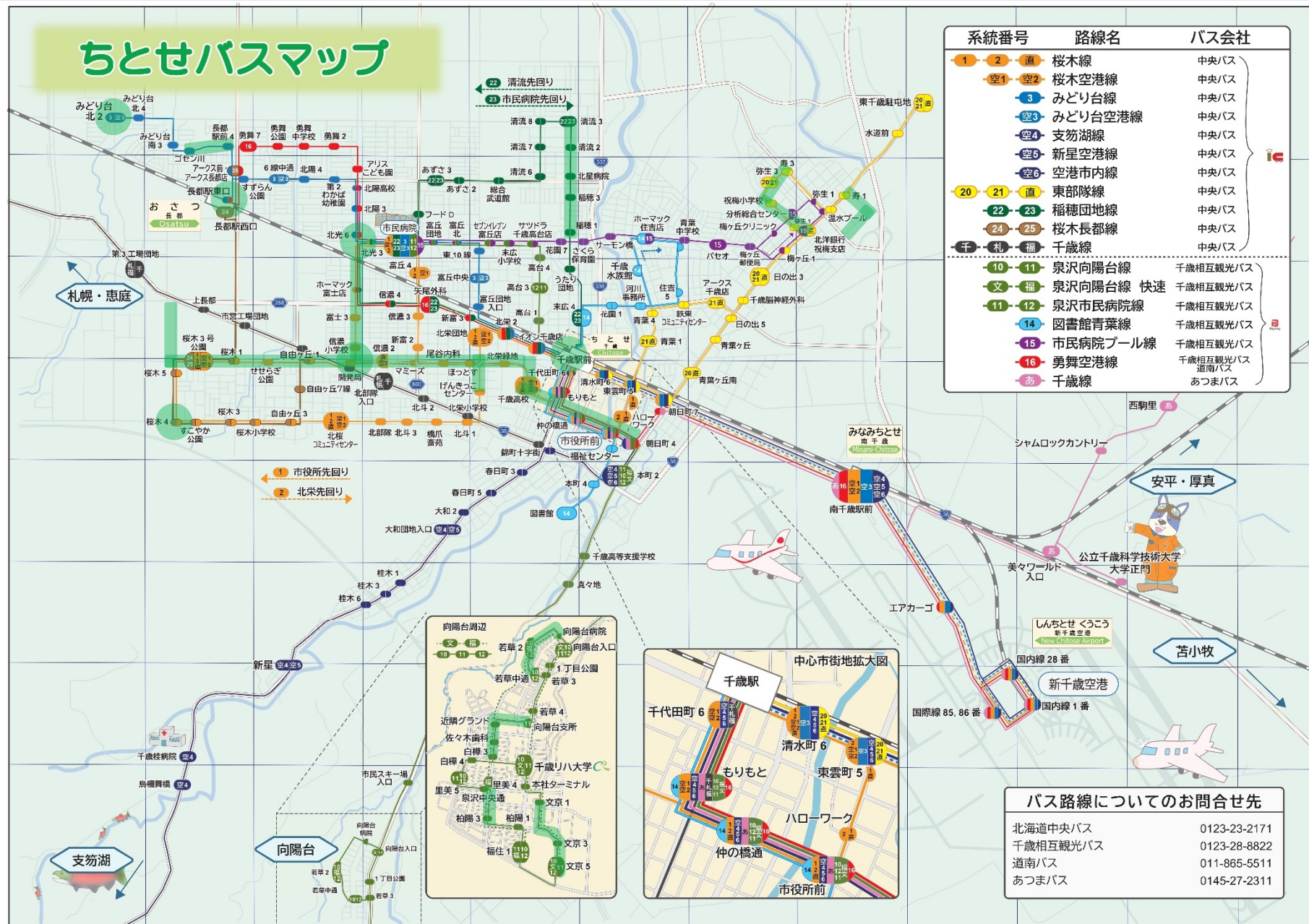
8 今後の取組

- 9月12日 第2回公共交通活性化協議会において課題の共有
- 10月～11月 バス事業者、道路管理者（国、道、市）、市交通政策課間で連絡調整会議を実施
- 12月中旬 第3回公共交通活性化協議会において対策方針の確認

【対策方針の作成】

- (1) 冬期間の情報連絡体制
- (2) 排雪作業の優先順位付けなど事前の情報共有
- (3) 大雪を想定した臨時の運行ルートの設定と市民への情報発信の方法

9 課題マップ (今後整理)



10 連絡体制の構築について（今後整理）

【大雪災害の連絡体制】

